

Citation: Abbot NC, Stead LF, White AR, Barnes J. Hypnotherapy for smoking cessation. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 1998, Issue 2. Art. No.: CD001008. DOI: 10.1002/14651858.CD001008.

CRG名: Tobacco Addiction

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 15 February 2005

Clib issue No.; N/U: 2008 issue 4, Updated

背景: 禁煙支援の一手段として催眠療法が広く奨励されている。喫煙したい欲求を弱め、または喫煙を中断する意志を強化する潜在的衝動に働きかけるものと提案されている。

目的: 本レビューの目的は、催眠療法の禁煙効果を評価することである。

検索戦略: smoking cessationおよびhypnotherapyまたはhypnosisの用語によりCochrane Tobacco Addiction Group Specialized Register、およびMEDLINE、EMBASE、AMED、SCI、SSCI、CISCOMのデータベースを2005年2月に検索した。

選択基準: 治療開始から少なくとも6か月間以上追跡後の禁煙率を報告した催眠療法に関するランダム化比較試験を選択した。

データ収集と分析: 2人の著者が、対象者の種類、催眠療法の種類と期間、対照群の特徴、アウトカム指標、ランダム化の方法、および追跡の完全性についてデータを抽出した。

主なアウトカム指標は、ベースライン時に喫煙していた患者における6か月以上追跡後の禁煙とした。各試験で最も厳密な禁煙定義を用い、入手可能な場合は生化学的検査により立証された率を用いた。追跡不能者は、喫煙者としてカウントした。可能な場合は、固定効果モデルを用いてメタアナリシスを実施した。

主な結果: 9つの研究で、催眠療法と14種類の対照介入を比較していた。無治療またはアドバイスのみと比較した催眠療法の効果については相矛盾する結果が示されるなど、研究間における有意な異質性が認められた。したがって、催眠療法の効果を示すための統合オッズ比を算出しなかった。集中喫煙法 (rapid smoking treatment) または心理療法と比較して催眠療法の効果を示すエビデンスはなかった。

レビューアの結論: 催眠療法は、その他の介入または無治療の6か月後の禁煙率に対する効果を上回らなかった。非比較研究により報告された催眠療法の禁煙効果は、ランダム化比較試験の解析では確認されなかった。

(翻訳 王国琴・星佳芳・監訳 埴岡隆; JCOHR)

翻訳公開日: 10年7月1日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がありましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは毎月、改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。